



Haute

Hotel Varadero
Cuba / photo by Ryuta Imafuku

Nécessité

ただ「歴史」だけが、いや「歴史の不在」だけが、島々をつないでおり、その自覚によって、詩人たちは新しい家を得る。群島という家。……生まれ故郷の島は、その群島の一角にあり、彼らの帰還をいつも待っている。彼らが帰郷者としてではなく、新たな難戻ってくることを、すでに難として生まれ、難破者としてついたのであれば、的な難破の経験とこりえないからだ、たちの生きる真実

破者として
破者の末裔
離散の途に
帰郷は永続
してしか起
それが詩人
であり、

彼らが歌う真実であった。
†

もっとも詩的なもの

「クレオール の 響き、あるいは 高度 必需」

2010年12月23日(水・祝日) 15:30~17:30 (開場 15:00)

会場：サウンド・カフェ・ズミ Sound Café dzumi (吉祥寺駅南口徒歩5分)

料金：一般 ¥2,500 / 学生 ¥2,000 (1ドリンク付)

出演：今福龍太 (人類学・批評家) × 星埜守之 (カリブ海圏フランス語文学)

音=声による出演：マルティニク (エドゥアール・グリッサン, ジャック・クルシル, アンリ・ゲドン etc.) ジャマイカ (オク・オヌオラ, リントン・クウェシ・ジョンソン etc.) キューバ (ニコラス・ギリエン, エリアデス・オチョア etc.) ブラジル (ヴィニシウス・ジ・モラエス etc.) 他

■2010年6月16日、ジェイムズ・ジョイス『ユリシーズ』の日に合わせてはじまった「楽空墨=LakouZumi」(クレオール語で地霊を目覚めさせる場所 LakouZemi から命名)。音と声による即興的で自由な集いによって最適な空間、吉祥寺のサウンド・カフェ・ズミで、「群島-世界論」のヴィジョンを音響によって演奏・演出するLakouZumiの第2回を開催します。

今回は、カリブ海の口誦世界の広がり音楽と声と朗読で聞く夕、その音と音のあいだを、ホスト・今福龍太とゲスト・星埜守之の即興的な対話が、思索の織物を編み上げていきます。

集いの背後に一つの思想的な横糸を忍ばせました。マルティニクの詩人エドゥアール・グリッサンによるmanifesto「高度必需」Haute Nécessitéの思想です。これは、昨年のグアドループ、マルティニク労働者の対フランス政府へのゼネストを擁護しながら、「最低必需品」によって保証されるだけの世俗的生活を、「高度必需」を求める詩的な倫理へと高めていこうとする刺激的な文化運動です。高度必需とは、散文的な経済論理を越えて、もっとも詩的なものによって生きることの宣言です。

†なぜなら、すでに彼らは

固有の出自
に守られた —今福龍太『群島-世界論』(岩波書店)

世界の輪郭
を蹴破って出奔し、時の波浪に
もまれながら、ついに群島の子
供として転生したからである。
終わりなき群島から群島への
旅の途上で、島へとたちもどる
かつての嬰兒たちの陽に焼け
た顔を、それぞれの島は待ちわ
びている……。この島々の持つ

期待こそ、群島の感情であり意思である。

■予約先：event@dzumi.jp

件名「楽空墨12/23」、本文「氏名、人数、電話番号」をメールでご連絡ください。

会場スペースの関係上、先着20名とさせていただきます。

吉祥寺 Sound Café dzumi

武蔵野市御殿山1-2-3 キョノビル7F

tel:0422-72-7822 http://www.dzumi.jp/